

第5回島田市都市計画マスタープラン等 まちづくり市民会議 議事要旨

◆日時：平成30年11月26日（水）18：45～21：00

◆場所：島田市役所会議棟大会議室

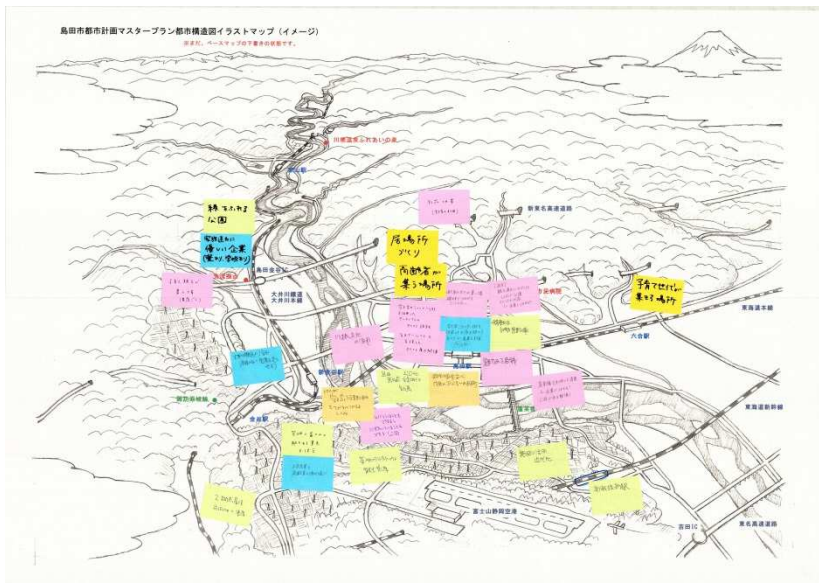
◆出席者：

○まちづくり市民会議委員（15人）

区分	氏名	職業等（所属）	備考
公募	権田 真知子	自営業（ヨガインストラクター）	欠席
	荒井 浩介	会社代表（(株)荒井建築計画事務所）	
	戸塚 康之	会社役員（(有)アスカエンジニアリング）	
団体推薦	佐久間 章次	島田商工会議所	会長
	木村 恭輔	島田青年会議所	
	鶴川 忠章	島田市社会福祉協議会	
	新聞 康博	島田市自治会連合会	副会長
	太田 拓男	島田市自治会連合会	
その他	北川 有香	男女協働参画啓発推進委員	
	田代 紗莉依	静岡県立大学 薬学部	
	鈴木 悠	静岡福祉大学 社会福祉学部	
市職員	堀崎 大二郎	地域生活部 協働推進課	
	北川 未奈子	行政経営部 人事課	
	安達 佑美	教育部 社会教育課	
	杉浦 元紀	支所 川根地域総合課	

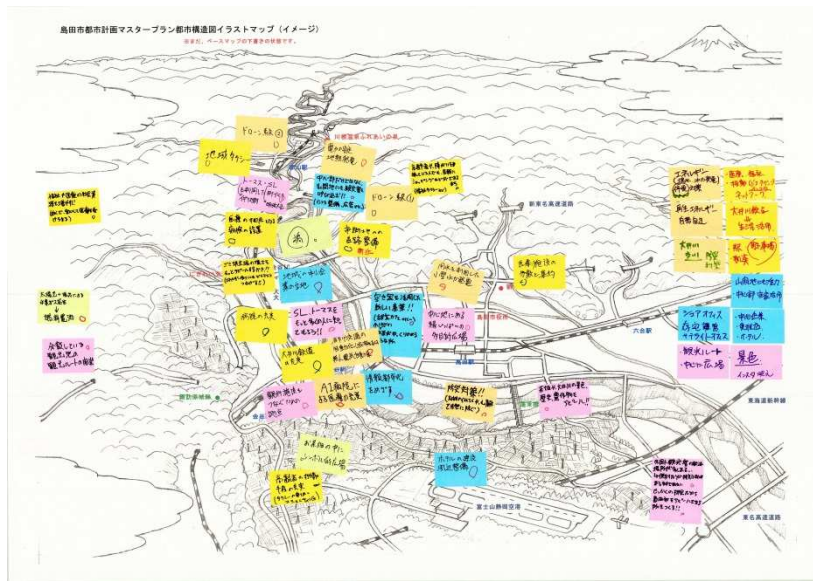
■第5回まちづくり市民会議 議事要旨

＜島田市の“将来像のイメージ”について＞

A グループ	
イラストマップ	
グループ発表	<p>＜発表概要＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先日大阪へ旅行に行った際に、日本一長い商店街を訪れたが、それぞれの店舗に特色があり、非常に賑わっていた。島田市には、ユニクロやGUなどのファストファッションの小売店がないため、それを逆手に取って、空き家やシャッター街を活用して、アーティストのアトリエを誘致するなどして特色を出してはどうか。 ・また、全国的にクラフト展が人気であるため、アーティストを誘致し、定期的にクラフト展を開催したら、中心市街地も賑わって特色もつくのではないか。 ・駅前に緑あふれる空間にする緑地化計画などを進めて、居場所づくりに取り組んではどうかと考えた。交流がある中にも、1人で過ごしたい時などは、公園で本を読んだり、ゆっくり過ごせる空間があると良いと思う。 ・今の駅前では、立寄ったり集える場所がない。そのため、飲食店やイートインスペース、にぎわった商店街、親子連れが集まる公園、友達同士で集える空間など、開放的にぎわいのある空間が整備されれば、駅前の賑わいにつながるのではないか。 ・新幹線の新駅があれば良いという意見がでた。新駅と富士山静岡空港間は自動運転で結ぶなどすれば、利便性の向上につながるのではないかと思う。 ・茶畑を利用した産業や川越遺跡を活用した観光産業などについても、民間活力を活用しながら、にぎわい創出ができればと考えた。また、将来的な自動車の自動運転を考慮しながら、道路整備を進めるという話も出た。 ・新しいモノやコトを取り入れることが大切だが、今ある資源や環境を違う視点で活用していくことも大切だと思う。

Bグループ

イラストマップ



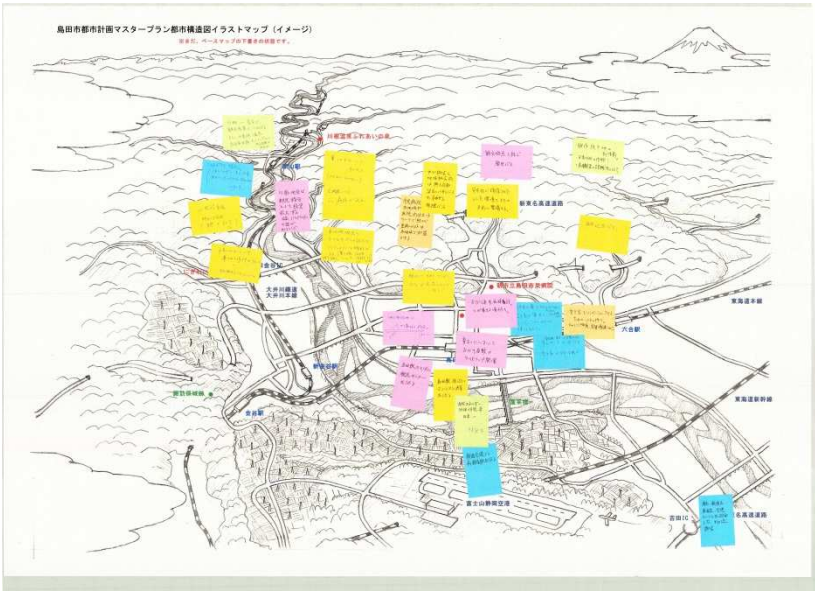
グループ発表

＜発表概要＞

- ・島田市民病院には様々な診療科があるが、地域毎の病院は個人院であることから専門的なものが多い。そのため、初診は地域で受け、必要に応じて市民病院で診察を受けるといったことができればと思い、情報を行き来しやすく、利用しやすくするという点で医療施設の分散と集中ということを考えた。
- ・市街地への道路整備については、東西は国道や新東名などがあるため、地域間での行き来があるが、南北は道が狭く通りにくいため、行き来が少ないと思う。そのため、南北方向のインフラ整備も出来ればと考えた。
- ・高齢者が免許返納することで、交通手段が無くなってしまいうことも考えられるため、地域タクシーや高齢者や障がい者が安価で利用できる福祉タクシー、中山間地域から市街地へのタクシーやバスなどの公共交通の充実が図られれば、住みやすいまちになると思う。
- ・先日の台風による停電で個人的に非常に不安な思いをした。情報化社会において、停電するとテレビやネットが利用できず、情報が入ってこない状況になる。また、近年ではオール電化の住宅も増えているため、停電すると生活自体が不便になる。そのため、大井川をはじめとした河川を利用した小型の水力発電や温泉の地熱を利用した地熱発電、個人で蓄電池を確保するなどの、自家発電を促して、自ら防災に備えることも重要である。
- ・大企業ではなく、地域に留まってくれやすい中小企業を誘致することで、一緒に地域を盛り上げていければと思う。
- ・空き家問題については、空き家を活用して、観光客のみでなく市民も利用できるような古民家カフェなども整備できれば良い。また、空港があることを活かし、外国人や観光客が宿泊できる場所を近くに設けるのも良いのではないかと。
- ・トーマスや大井川、温泉、茶畑など観光資源が分散しているため、それを繋ぐルートやアクセスの整備も必要だと思う。
- ・最近ではインスタグラムなどの発展により、情報媒体として写真が持つ影響力が大きい。茶畑や大井川など島田ならではの魅力を伝える手段として活用出来ればよい。
- ・初倉地域はホテルやコンビニなどがあり生活するには便利だが、島田らしさを感じるものがないため、島田をアピールする場所や機会を設けることも大切だと思う。
- ・大井川を渡る橋が非常に混雑するため、もう一つ橋を架ければという意見も出た。
- ・茶畑は他都市にはあまりない島田ならではの景観であるため、来訪者に感動してもらえる。そういった場所に観光拠点を整備すれば良いのではないかと考えた。

Cグループ

イラストマップ



グループ発表

- <発表概要>
- ・中山間地では、既にパラグライダーやヒルクライム、キャンプ場等があり、外国人観光客を呼び込まなくても訪れている状況にあるため、ポテンシャルは高い。そのため、この場所を観光特区に指定するなどして集中的に整備してはどうか。
 - ・自然に囲まれた場所にある川根小学校などでは、自然+ICTを兼ね備えた特別な学校などを整備し、県外からの受入体制を整えれば、他都市からも人が来るのではないか。
 - ・川根地域などの中山間地では、高齢者が病院へ行くために公共交通を2回乗り継がなければならない、アクセスが非常に不便な状況にある。そのため、各地域の拠点毎に遠隔で診察してもらえる小さな病院などがあれば非常に良いと思う。将来的には、薬を貰うだけならば、ドローンで受け取れるような時代になっていると思う。また、単なる病院ではなく、コンビニ感覚で利用できるよう、デイサービスやスーパー、保育所などの機能が入っていれば、魅力的で便利な場所になると思う。
 - ・バスは運行しているが利用者が少ない状況にある。そのため、自動運転で各拠点の病院を結ぶ循環バスがあれば、利用者の需要も見込めるのではないか。
 - ・中心市街地については、やはり人が集える拠点が欲しい。現状では、島田駅に到着して北口を出たときに島田らしさを感じることができない。そのため、何か島田らしさを感じられるような、観光センターやお茶関係の施設があっても良いのではないかと考える。おびりあについても、児童館や図書館などが併設されているが、もう少し機能を追加したり、機能を見直したりするなどしてはどうかと考える。市役所が人の集まれる場所になっても面白いのではないかと考えた。
 - ・島田駅付近にマンションを建設したら、島田に住む人も増えるのではないかという意見も出た。
 - ・空き店舗や空き家を利活用し、行政が応援しつつ民間で回せる仕組みができれば、自発的ににぎわうのではないか。
 - ・環境に配慮した住宅ということで、自然エネルギー活用住宅率日本一などを目指すような取り組みを進めることも、島田のアピールになると思う。